

第九アジア初演の地 「なるとの第九」ソリストに応募しませんか

認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会では、1918年6月1日に鳴門でドイツ兵俘虜によってアジアで初めてベートーヴェンの『第九』交響曲全曲が演奏されたことを記念して、昭和57年から毎年6月の第1日曜日に徳島県鳴門市文化会館において全国から「第九」を歌う仲間が集まり、「第九」交響曲演奏会を開催しています。

2020年（令和2年）は、6月7日（日）に鳴門「第九」を歌う会、全日本「第九を歌う会」連合会と徳島交響樂團により行います。

つきましては、鳴門の「第九」演奏会にソリストとして出演していただける方を募集し、公開オーディションにて選出いたします。今回は「第九」の他に「合唱幻想曲」のソリストも務めていただきます。

オーディションの内容

応募声種	ソプラノ・アルト（メゾ・ソプラノ）・テノール・バス（バリトン） 各1名
応募資格	① 年齢18歳以上45歳未満の方（令和元年9月末日現在） ② 国籍は問いません。 ③ 合格した場合、令和2年6月7日（日）の第九演奏会及び6月6日（土）の前日練習に参加可能であること。
応募方法 （予備審査）	所定の応募用紙に必要事項を記入し、下記の課題AとB・Cから自由に選んだ曲をピアノ伴奏で録音したものの（1年以内に録音したものに限り）を音楽用CDとして同封し、令和元年9月25日（水）（必着）までに、下記事務局宛てに送付してください。尚、応募書類、及び音源の返却は致しません。 A ベートーヴェン作曲「交響曲第9番」よりパート別に指定した以下の箇所 ソプラノ : 第763小節～803小節、第825小節～842小節 アルト（メゾ・ソプラノ） : 第763小節～803小節、第825小節～842小節 テノール : 第367小節～431小節、第825小節～842小節 バス（バリトン） : 第208小節～256小節、第825小節～842小節 B 古典派からロマン派までのドイツ歌曲を1曲 C 任意のアリア（オペラでもオラトリオでも可）を1曲 但し、BとCの演奏時間は合わせて10分以内。 予備審査の結果は10月17日までに全員に文書で通知します。
最終審査 （公開オーディション）	最終審査は、予備審査の合格者を対象に、令和元年11月13日（水）18時より鳴門市文化会館ホールで公開のオーディション形式で行います。その際、ピアノ伴奏者は各自で同伴してください。 最終審査の結果は、オーディション終了後、当日会場で発表します。
演奏会出演本番の報償（出演料）	オーディション合格された方は、令和2年6月7日（日）に開催される第39回鳴門「第九」演奏会にソリストとして、出演していただきます。 出演されたソリストには、出演料として1人150,000円（消費税別・源泉含む）+交通補助費を支払います。宿泊は主催者側が用意します。 ※交通費補助費はホームページをご覧ください。
問い合わせ先 （録音送付先）	認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会 〒772-0003 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜24番地7 鳴門市文化会館内 ☎ 088-686-9999 FAX 088-686-9994 e-mail:kanki@naruto-9.com http://www.naruto-9.com

